

京極記念基金による海外における学会出席補助に関するお知らせ

本基金は、我が国における生体系 NMR 研究の基盤強化に多大な貢献を果たされ、また本学会の創立時に理事を務められた故京極好正大阪大学名誉教授のご遺族からのご寄付を基に 2004 年に設立され、本学会の若手会員の海外における NMR 国際学会への渡航援助を目的に活動して参りました。本年度は既に The EMBO Practical Course "Structure determination of biological macromolecules by solution NMR" Friday July 6 - Friday July 13 2007 の参加希望者の内で、Course 主催者の選考結果で採択された方に 1 名に助成金を差し上げることになりました。引き続き、本年 10 月に台湾で開催される ISMAR2007、及びそれに先立つ第 2 回 APNMR 会議に出席・発表を希望する方々の内、数名に助成金各 10 万円を授与することに致します。

つきましては、**本助成金を希望される方は**下記に示す応募書類を 5 月中に京極記念基金選考委員長甲斐荘宛て (kainosho@nmr.chem.metro-u.ac.jp) に添付書類として送ってください。なを、両学会の登録や要旨の締め切りを十分注意してください。

(1) 16th Triennial Conference for the International Society of Magnetic Resonance (2007 ISMAR 2007), Oct. 14-19 (2007), Kenting, Taiwan: [HTTP://ISMAR2007.SINICA.EDU.TW/](http://ismar2007.sinica.edu.tw/)

(2) The 2nd Asian-Pacific NMR Symposium (APNMR), Oct. 12-14, Hsinchu, Taiwan: [HTTP://APNMR2007.LIFE.NTHU.EDU.TW/](http://apnmr2007.life.nthu.edu.tw/)

応募資格：

- * 応募時に 35 歳以下であること。
- * 他の旅費補助金を受けていないこと。なを、受領決定後に補助金を受けられることが明らかになった場合には、速やかに選考会宛にその旨連絡すること。
- * 所属する研究所/研究室において希望者を選考し、1 名のみ応募すること。
- * 当該学会においてポスター、或いは口頭発表を必ず行うこと。

応募書類：

- * 学会発表・論文リスト含む簡単な履歴書
- * 発表の要旨、
- * 助成金が必要である理由 (形式は自由)
- * 助成金は 10 万円ですので、他の費用が個人或いは所属組織・科研費などにより支払えることを簡潔に示す、できれば研究室の代表者等からの文書。

選考方法：

5 月末日迄に申し込みのあった応募者から、若干名の援助金受領者を京極基金選考委員会において選考し、その結果を会長名で本人宛て通知するとともに HP に掲載する。京極基金受領者は本年度の NMR 討論会において賞状を持って顕彰する予定です。

報告義務：

本基金により助成を受けた方々は、帰国後速やかに学会参加報告書（形式自由）を添付メールで会長宛てにお送り下さい。なを、この報告書は学会 HP 掲載、或いはニュースレターの形で会員宛てに配布されることを前提にお書き下さい。

以上